

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込む。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 施設利用者数の増加(前年度比) ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R6年度実績	達成率※
施設利用者数	施設利用者数の増加	8,032人(R5年度8,880人)	90.5%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%以上	91.9%(R5年度89.3%)	102.9%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R6年度	R5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
指定管理料	実績	282,121	273,731	実績－計画	△ 6,383	人事異動等による減
	計画	288,504	286,610	計画－提案	△ 29,943	人事異動による人件費積算減、委託費精査による減
	提案	318,447	309,723			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	282,121	273,731	実績－計画	△ 6,383	
	計画	288,504	286,610	計画－提案	△ 29,943	
	提案	318,447	309,723			

イ 支出

(単位：千円)

費目		R6年度	R5年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	203,782	198,753	実績－計画	△ 11,938	育児休暇、休職等による減
	計画	215,720	213,546	計画－提案	△ 13,724	人事異動による減
	提案	229,444	227,254			
事務費	実績	13,241	12,922	実績－計画	△ 635	印刷製本費等の執行減
	計画	13,876	13,747	計画－提案	△ 2,703	執行精査による減
	提案	16,579	16,336			
事業費	実績	16,957	16,836	実績－計画	△ 1,124	水道光熱費の減
	計画	18,081	19,221	計画－提案	△ 1,109	執行精査による減
	提案	19,190	19,048			
委託費	実績	43,573	43,573	実績－計画	3,166	給食業務委託契約等の委託料上昇のため
	計画	40,407	39,437	計画－提案	△ 12,246	執行精査による減
	提案	52,653	46,529			
その他	実績	327	530	実績－計画	△ 42	
	計画	369	530	計画－提案	△ 212	
	提案	581	556			
本社費・共通費	実績	2,940	1,918	実績－計画	2,889	区分間資金移動
	計画	51	129	計画－提案	51	区分間資金移動
	提案	0	0			
合計	実績	280,820	274,532	実績－計画	△ 7,684	
	計画	288,504	286,610	計画－提案	△ 29,943	
	提案	318,447	309,723			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R6年度	R5年度
必須業務	収入合計	282,121	273,731
	支出合計	280,820	274,532
	収支	1,301	△ 801
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収支	0	0
総収入		282,121	273,731
総支出		280,820	274,532
収支		1,301	△ 801
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数の増加 (前年度比)	C	8,032人 (R5年度8,880人)
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	91.9% (R5年度88.8%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

「利用者アンケートにおける満足度9割以上」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	11.8%の削減(育児休暇、休職による減のため)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理				
	市民の平等利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 業務継続計画（BCP）を策定した。 毎月避難訓練を行った
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
	(1) 人的組織体制の充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検・定期点検を適正に実施した。
	施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
	(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免 利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。 意見箱を常置した。
	利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 継続して園児兄弟・姉妹預かり事業を実施した。
	施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に市内業者を利用した。

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等の受入れや利用者数の増加に向けた取組について、引き続き努めていただきたい。 	令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等の受入れについては、ひまわりルームでは感染症予防の観点から昨年度まで受け入れを休止していましたが、今年度より受け入れを再開し、行事補助や教材づくりなどに協力頂きました（年間受入れ総数25人）。また、たけのこルーム（旧医療型）では、ボランティアセンター等から応募の問い合わせもあり、随時ボランティアを受け入れた結果、色々なボランティアの方々に関わって頂き、兄弟姉妹一時預かり事業の実施、親子分離や行事による利用児の見守りなど、保護者が安心して登園できる環境を整えることができました（年間受入れ総数15人）。 利用者数の増加に向けた取組については、各区基幹相談支援センターや保健福祉センター（高齢障害支援課、健康課）、県立リハビリテーションセンター等を訪問して、各ルームのパンフレットを配布するなど、空き情報を含む広報活動を年2回実施しました。その結果、利用希望の問い合わせが増加するなど一定の効果がありました。引き続き利用者数の増加に向けて取り組んでまいります。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

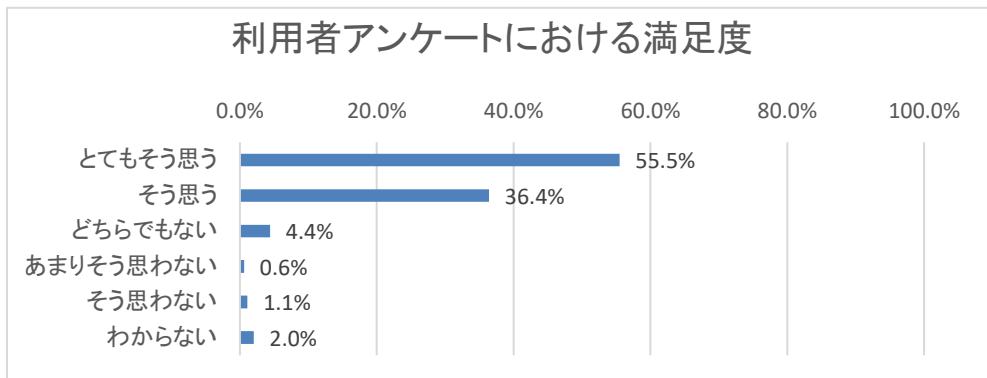
(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）
	回答者数	延べ119名
	質問項目	・職員の配置数や専門性について ・療育内容について ・親子通園について ・個別支援計画について ・家族支援について等

令和6年度実施アンケートより一部抜粋（詳細については、事業報告書P54～P93参照）

利用者アンケートにおける満足度（成果指標）

事業報告書P56～P109より



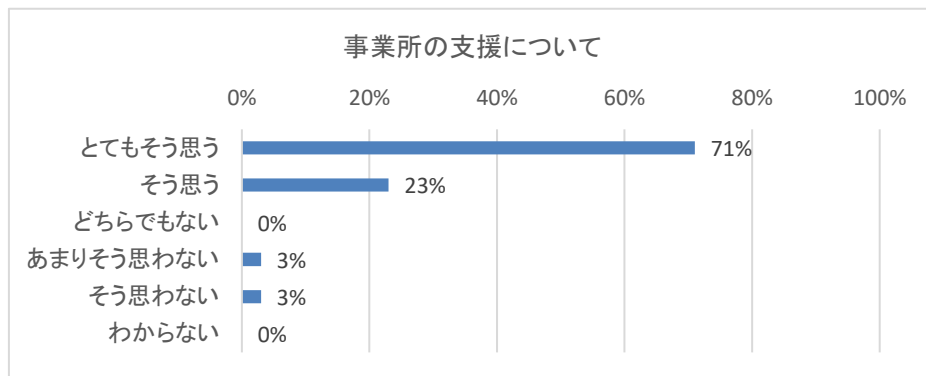
各サービスの前後期における、全設問回答数である合計2,917の内、

「とても思う」（55.5%）「そう思う」（36.4%）の割合の合計を成果指標（91.9%）とした。

ア ひまわりルーム（前期）

配布数36、回答数31

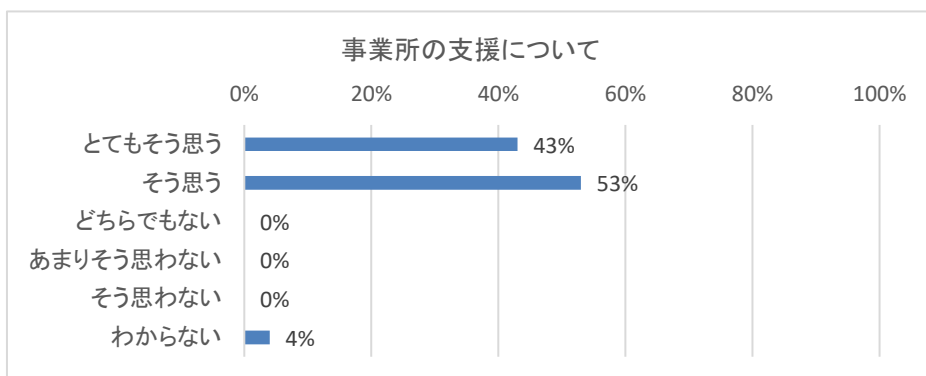
回答率86.1% 事業報告書P58



ひまわりルーム（後期）

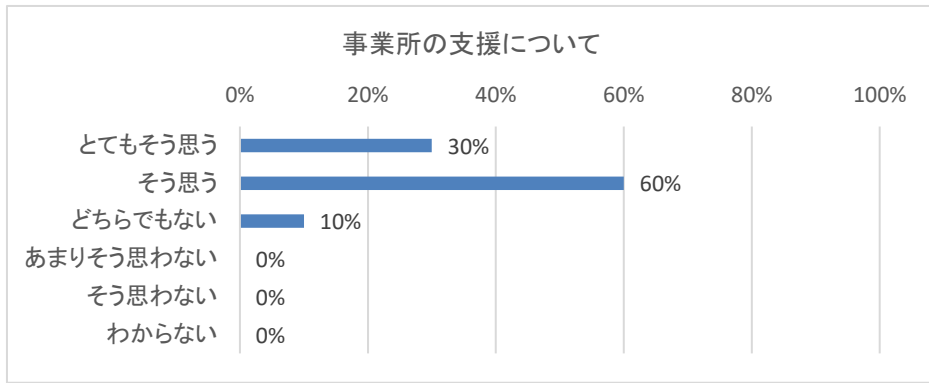
配布数35、回答数28

回答率80.1% 事業報告書P66

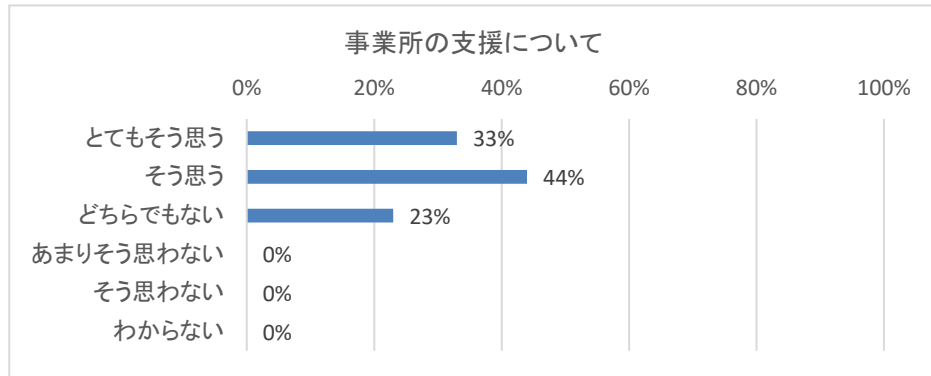


結果

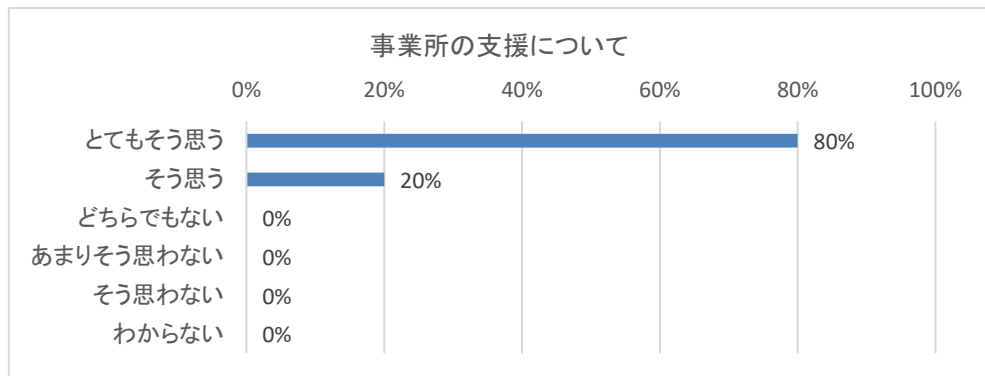
イ たけのこルーム（医療型・前期） 配布数11、回答数10 回答率90.9% 事業報告書P75



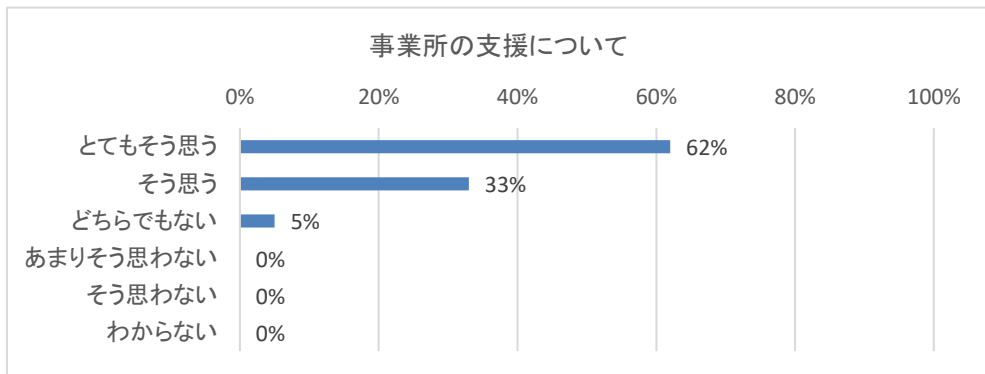
たけのこルーム（医療型・後期） 配布数12、回答数9 回答率75.0% 事業報告書P80



ウ たけのこルーム（児発・前期） 配布数20、回答数20 回答率100% 事業報告書P87



たけのこルーム（児発・後期） 配布数25、回答数21 回答率84.0% 事業報告書P91



(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
通園バス利用時に保護者が使用している名札が古い。(ひまわりルーム)	名札の使用状況を確認して適切に更新し、保護者に配布しました。
毎月のお便りなど、LINEやWebで出来たら便利だと思っています。(たけのこルーム 旧医療型)	後期アンケートより、メールシステムを使用して対応しました。また、毎月のお便りも同様のシステムを利用し配信するなど、利用児が長期欠席などになった場合でもお便りの内容確認が出来るように改善しました。
保護者が発達や子供の特性について勉強できる講義の様な機会がありましたら嬉しいです。(たけのこルーム 児童発達支援事業)	保護者の希望に応じ心理判定員との個別相談や言語聴覚士によるお話会や個別相談を実施し、発達や育児、子育ての悩みなどが軽減できるように努めました。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p> <p>施設全般 ・施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、児童、保護者が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持しました。</p> <p>ひまわりルーム ・本年度も他集団への移行を考えている保護者に対し、相談に応じたり、千葉市幼稚園協会・千葉市役所こども未来局幼児教育保育部幼保指導課作成資料を配布をに対応しました。しかし、今年度移行をした方はいませんでした。 ・出席率は75.2%と昨年度の78.7%を超えることができませんでした。これは、定員を満たさなかった事や他事業所を利用する方の増加などが要因と考えます。アンケートによる利用者満足度は93.6%と目標の90%を超えることができました。</p> <p>たけのこルーム 児童発達支援センター(旧医療型)では、運営方針に沿って日々の療育活動や分離を実施しました。運動会や夏祭り、父親参観日を土曜日に開催し他家族との交流を深めました。父親参観日では、父親が療育活動と心理判定員による勉強会に参加し我が子への理解が深まるよう努めました。ボランティア受け入れは、兄弟姉妹一時預かり事業の実施、親子分離や行事による利用児の見守りなど、保護者が安心して登園できる環境を整えました。保護者勉強会では、作業療法士と理学療法士による勉強会を年3回実施しました。利用児個々の発達や家庭での悩みが受けられるよう、随時専門職が相談に応じ保護者の負担軽減に努めました。児童発達支援事業では、利用児個々の発達や保護者の悩みに対し随時相談を行いました。言語聴覚士による勉強会や個別相談を実施し日頃の保護者の相談に応じ保護者の負担軽減に努めました。また、利用児童の通う保育所(園)等や幼稚園を訪問して課題や支援の方向性の共有を図る等の地域連携に努めました。(保育所(園)・幼稚園訪問14件)療育では、季節に合わせた行事の要素を取り入れたプールの実施など、季節感を感じる療育に取り組みました。</p>
-------------	----------	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none">・施設利用者数が減少（R5:8,880人→R6:8,032人）してしまったが、昨年度実施できなかったボランティアの受入れなどを積極的に行った。・ひまわりルームでは、昨年度、在園児、新入園児別々に実施していた運動会をルーム全体で実施し、保護者、児童同士の交流を持てるように設定した。・たけのこルームでは、さまざまな行事を土曜日に実施し、他家族間との交流を深めるよう務めた。保護者の悩みに対し、随時個別相談を実施した。また、利用児が通っている保育所等に対し地域連携を図り、就学・移行支援を行い、保護者の安心と負担軽減に務めた。
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

・ 管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められ、アンケートの自由記述等の公開について引き続き継続していただきたい。